



平成 24 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 協同飼料株式会社
代表者名 代表取締役社長 林 泰 正
(コード番号 2052 東証第一部)
問合せ先 執行役員経理部長 大 友 彰
(TEL. 045-461-5711)

(訂正) 「平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (連結) 」
の一部訂正について

当社は、本日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、
過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 18 年 7 月 31 日に発表いたしました「平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の
概況 (連結) 」の記載内容を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

訂正箇所が多数であるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線____
を付して表示しております。



平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 7 月 31 日

上場会社名 協同飼料株式会社

(コード番号：2052 東証第1部)

(URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 村井 弘一

TEL：(045) 461 — 5711

責任者役職・氏名 取締役経理部長 大友 彰

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)・法人税等の計算基準…簡便法により計算しております。
 ・引当金の計上基準等に、一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	26,023	△5.1	609	△6.0	585	8.7	242	—
18年3月期第1四半期	27,422	2.6	647	55.9	538	14.3	△211	—
(参考)18年3月期	108,223		2,970		2,579		433	

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	2	43	—	
18年3月期第1四半期	△2	12	—	
(参考)18年3月期	4	35	—	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成18年4～6月）におけるわが国経済は、企業設備投資の増加や雇用の拡大などにより緩やかながら景気回復が継続しております。

畜産飼料業界におきましては、国際飼料穀物相場は主要原料であるとうもろこしが、主産地米国における作付面積の減少見込等から相場は堅調に推移いたしました。

畜産物につきましては、鶏卵は供給増による需給の緩和により相場は下落傾向を示したものの、食肉類は米国産牛肉の輸入停止に伴う代替需要等により堅調な相場が続きました。

このような経営環境において当社グループは、今期が最終年度となる「中期経営計画」を達成するため、グループ全部門を挙げて収益力の向上に努めました。

その結果、売上高は、配合飼料については前年同期に比べ値上げにより増収となったものの、畜産物の売上高が減少したため、全体として260億2千3百万円（前年同期比5.1%減）と減収になりました。しかしながら、経常利益は持分法投資損益の改善等により5億8千5百万円（前年同期比8.7%増）と増益を果たすことができました。また、特別利益として固定資産処分益1千8百万円、特別損失として役員退職慰労金1億3千5百万円を計上した結果、当四半期純利益は2億4千2百万円（前年同期は2億1千1百万円の純損失）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円
19年3月期第1四半期	46,265	13,639	29.5	136.69
18年3月期第1四半期	48,326	12,174	25.2	122.01
(参考)18年3月期	46,878	13,817	29.5	138.47

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	492	151	△ 354	919
18年3月期第1四半期	649	△ 220	△ 417	1,109
(参考)18年3月期	1,988	△ 75	△2,382	629

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状況を前期末と比べますと、株式相場が前期末より下落したため投資有価証券が減少したこと等により、総資産は6億1千3百万円減少して462億6千5百万円となり、純資産は1億7千7百万円減少して136億3千9百万円となりました。

(連結キャッシュ・フロー)

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益4億6千8百万円等により、仕入債務の減少等があったものの、4億9千2百万円の収入となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、固定資産売却収入1億2千7百万円等により、1億5千1百万円の収入となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、配当金支払1億5千4百万円、長短借入金返済7千1百万円等により、3億5千4百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、9億1千9百万円となりました。

3. 添付資料

- ① 要約四半期連結貸借対照表
- ② 要約四半期連結損益計算書
- ③ 要約四半期連結株主資本等計算書
- ④ 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- ⑤ セグメント情報

以上

[参 考] 平成 19 年 3 月期の連結業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

下表のとおり、平成 18 年 5 月 15 日公表の業績予想の修正はありません。

	売上高	経常利益	当期純利益
中 間 期	百万円 54,000	百万円 1,300	百万円 350
通 期	111,000	3,100	900

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 9 円 02 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

今後の見通しにつきましては、米国産牛肉の輸入再開及びWTO (世界貿易機関) における新多角的貿易交渉の決裂に伴う影響等、先行きは不透明であります。

こうした中で、当社グループでは、飼料事業部門においては新製品の開発と顧客にとり付加価値の高い配合飼料の拡販、畜産物事業部門においては畜産物の処理加工体制の整備を中心として積極的な営業施策を図っており、ほぼ当初の予想どおりに推移しておりますので、中間期・通期とも業績予想の変更は行いません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる可能性があることをご承知置き下さい。

要約四半期連結貸借対照表

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第1四半期 (18.6.30)	前 期 末 (18.3.31)	増 減	前第1四半期 (17.6.30)
(資産の部)				
I 流動資産	20,574	20,684	△ 110	22,004
現金及び預金	922	632	290	1,125
受取手形及び売掛金	15,363	15,240	122	16,429
たな卸資産	3,008	2,993	15	2,863
繰延税金資産	104	142	△ 37	169
短期貸付金	319	334	△ 15	486
その他	934	1,372	△ 438	972
貸倒引当金	△ 77	△ 31	△ 46	△ 42
II 固定資産	<u>25,691</u>	<u>26,194</u>	△ 502	<u>26,321</u>
有形固定資産	8,622	8,801	△ 178	9,148
建物及び構築物	2,257	2,291	△ 34	2,354
機械装置及び運搬具	3,158	3,263	△ 104	3,446
土地	2,960	3,040	△ 80	3,189
建設仮勘定	90	53	37	1
その他	156	152	3	156
無形固定資産	397	403	△ 5	414
その他	397	403	△ 5	414
投資その他の資産	<u>16,670</u>	<u>16,988</u>	△ 318	<u>16,759</u>
投資有価証券	7,019	7,470	△ 450	5,740
長期貸付金	5,252	5,293	△ 40	5,569
長期未収入金	6,729	6,673	56	5,848
破産債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	949	939	9	1,355
繰延税金資産	<u>1,871</u>	<u>1,684</u>	186	<u>2,500</u>
その他	716	824	△ 108	847
貸倒引当金	<u>△5,869</u>	<u>△5,897</u>	28	<u>△5,101</u>
資産合計	<u>46,265</u>	<u>46,878</u>	△ 613	<u>48,326</u>

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第1四半期 (18.6.30)	前 期 末 (18.3.31)	増 減	前第1四半期 (17.6.30)
(負債の部)				
I 流動負債	23,302	23,709	△ 406	25,602
支払手形及び買掛金	8,245	8,956	△ 710	9,287
短期借入金	11,216	11,234	△ 17	11,704
未払法人税等	201	100	100	96
繰延税金負債	3	2	0	3
賞与引当金	564	359	205	570
未払費用	1,104	1,206	△ 102	1,138
その他	1,966	1,850	116	2,803
II 固定負債	9,322	9,345	△ 22	10,545
長期借入金	7,892	7,947	△ 54	9,078
繰延税金負債	21	21	0	47
退職給付引当金	1,388	1,357	31	1,396
その他	20	20	0	22
負債合計	32,625	33,055	△ 429	36,148
(少数株主持分)				
少数株主持分	—	5	△ 5	3
(資本の部)				
I 資 本 金	—	5,199	—	5,199
II 資本剰余金	—	4,947	—	4,947
III 利益剰余金	—	<u>1,947</u>	—	<u>1,302</u>
IV その他有価証券評価差額金	—	2,140	—	1,143
V 自己株式	—	△ 418	—	△ 417
資本合計	—	<u>13,817</u>	—	<u>12,174</u>
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	<u>46,878</u>	—	<u>48,326</u>
(純資産の部)				
I 株 主 資 本				
資 本 金	5,199	—	—	—
資本剰余金	4,947	—	—	—
利益剰余金	<u>1,990</u>	—	—	—
自己株式	△ 418	—	—	—
株主資本合計	<u>11,718</u>	—	—	—
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	1,868	—	—	—
繰延ヘッジ損益	45	—	—	—
評価・換算差額等合計	1,914	—	—	—
III 少数株主持分	6	—	—	—
純資産合計	<u>13,639</u>	—	—	—
負債及び純資産合計	<u>46,265</u>	—	—	—

(金額単位：百万円未満切捨)

	当第1四半期	前 期 末	前第1四半期
(注) 1. 受取手形割引高	1,345	1,698	1,568
2. 有形固定資産減価却累計額	21,134	20,938	20,589
3. 保証債務	2,899	3,016	3,585
4. 債務保証予約	285	293	341
5. 経営指導念書	190	125	125
6. 自己株式数	4,210,382株	4,209,298株	4,206,713株

要約四半期連結損益計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第1四半期 (18.4~18.6)	前第1四半期 (17.4~17.6)	増 減	前 期 (18.4~18.3)
I 売上高	26,023	27,422	△ 1,399	108,223
II 売上原価	23,188	24,484	△ 1,296	96,125
売上総利益	2,835	2,938	△ 102	12,098
III 販売費及び一般管理費	2,226	2,290	△ 64	9,127
営業利益	609	647	△ 38	2,970
IV 営業外収益	161	193	△ 31	557
受取利息及び配当金	63	66	△ 3	126
その他の営業外収益	97	126	△ 28	430
V 営業外費用	185	302	△ 117	948
支払利息	78	77	0	308
持分法による投資損失	29	183	△ 154	388
その他の営業外費用	78	41	36	251
経常利益	585	538	46	2,579
VI 特別利益	18	—	18	262
固定資産売却益	18	—	18	262
VII 特別損失	135	738	△ 603	1,951
役員退職慰労金	135	—	135	—
減損損失	—	738	△ 738	779
貸倒引当金繰入額	—	—	—	1,095
投資有価証券等評価損	—	—	—	75
税金等調整前四半期(当期)純利益 又税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	468	△ 199	668	891
税金費用	225	12	213	455
少数株主利益	0	△ 0	1	1
四半期(当期)純利益 又四半期(当期)純損失(△)	242	△ 211	454	433

要約四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期連結会計期間（自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 6 月 30 日）（金額単位：百万円未満切捨）

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
前 期 末 残 高	5,199	4,947	<u>1,947</u>	△ 418	<u>11,676</u>	2,140		2,140	5	<u>13,823</u>
当四半期変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
四半期純利益			242		242					242
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の 当四半期変動額						△ 272	45	△ 226	0	△ 225
当四半期変動額合計		0	42	△ 0	42	△ 272	45	△ 226	0	△ 183
当四半期末残高	5,199	4,947	<u>1,990</u>	△ 418	<u>11,718</u>	1,868	45	1,914	6	<u>13,639</u>

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第1四半期 (18.4~18.6)	前第1四半期 (17.4~17.6)	前 期 (17.4~18.3)
	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	468	△ 199	891
減価償却費	204	223	933
減損損失	—	738	779
引当金の増加額(△は減少額)	254	205	712
持分法による投資損失	29	183	388
売上債権の減少額(△は増加額)	△ 185	△ 45	499
たな卸資産の減少額(△は増加額)	△ 15	△ 364	△ 494
その他の資産の減少額(△は増加額)	476	258	△ 682
仕入債務の増加額(△は減少額)	△ 685	409	225
その他負債の増加額(△は減少額)	13	3	△ 71
法人税等の支払額	△ 74	△ 657	△ 791
その他	4	△ 107	△ 403
営業活動によるキャッシュ・フロー	492	649	1,988
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
貸付金の純減少額(△は純増加額)	55	△ 35	393
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 71	△ 194	△ 829
有形・無形固定資産の売却による収入	127	1	405
投資有価証券の取得による支出	△ 1	△ 1	△ 105
投資有価証券の売却による収入	20	9	28
その他	21	△ 0	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	151	△ 220	△ 75
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(△は純減少額)	△ 555	△ 696	△ 3,087
長期借入金の借入による収入	1,400	1,000	5,120
長期借入金の返済による支出	△ 916	△ 568	△ 3,900
預り担保金返済による支出	△ 127	—	△ 315
自己株式の売却による収入	0	0	0
自己株式の取得にによる支出	△ 0	△ 0	△ 0
配当金の支払額	△ 154	△ 152	△ 199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 354	△ 417	△ 2,382
IV. 現金及び現金同等物の増加額	289	10	△ 469
V. 現金及び現金同等物期首残高	629	1,098	1,098
VI. 現金及び現金同等物期末残高	919	1,109	629

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結会計期間（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	15,521	10,502	26,023	—	26,023
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	26	—	26	(26)	—
計	15,548	10,502	26,050	(26)	26,023
営業費用	14,744	10,432	25,176	237	25,414
営業利益	803	69	873	(264)	609

前第1四半期連結会計期間（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	15,268	12,154	27,422	—	27,422
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	46	—	46	(46)	—
計	15,314	12,154	27,469	(46)	27,422
営業費用	14,422	12,143	26,565	209	26,774
営業利益	892	10	903	(255)	647

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	63,323	44,899	108,223	—	108,223
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	107	—	107	(107)	—
計	63,431	44,899	108,331	(107)	108,223
営業費用	59,746	44,635	104,382	870	105,252
営業利益	3,684	263	3,948	(977)	2,970

（注） 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

2. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年7月31日

上場会社名 協同飼料株式会社

(コード番号：2052 東証第1部)

(URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 村井 弘一

TEL：(045) 461 — 5711

責任者役職・氏名 取締役経理部長 大友 彰

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)・法人税等の計算基準…簡便法により計算しております。
 ・引当金の計上基準等に、一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	26,023	△5.1	609	△6.0	585	8.7	242	—
18年3月期第1四半期	27,422	2.6	647	55.9	538	14.3	△211	—
(参考)18年3月期	108,223		2,970		2,579		433	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	2	43	—	
18年3月期第1四半期	△2	12	—	
(参考)18年3月期	4	35	—	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成18年4～6月）におけるわが国経済は、企業設備投資の増加や雇用の拡大などにより緩やかながら景気回復が継続しております。

畜産飼料業界におきましては、国際飼料穀物相場は主要原料であるとうもろこしが、主産地米国における作付面積の減少見込等から相場は堅調に推移いたしました。

畜産物につきましては、鶏卵は供給増による需給の緩和により相場は下落傾向を示したものの、食肉類は米国産牛肉の輸入停止に伴う代替需要等により堅調な相場が続きました。

このような経営環境において当社グループは、今期が最終年度となる「中期経営計画」を達成するため、グループ全部門を挙げて収益力の向上に努めました。

その結果、売上高は、配合飼料については前年同期に比べ値上げにより増収となったものの、畜産物の売上高が減少したため、全体として260億2千3百万円（前年同期比5.1%減）と減収になりました。しかしながら、経常利益は持分法投資損益の改善等により5億8千5百万円（前年同期比8.7%増）と増益を果たすことができました。また、特別利益として固定資産処分益1千8百万円、特別損失として役員退職慰労金1億3千5百万円を計上した結果、当四半期純利益は2億4千2百万円（前年同期は2億1千1百万円の純損失）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	45,672	13,047	28.6	130 75
18年3月期第1四半期	47,734	11,582	24.3	116 06
(参考)18年3月期	46,286	13,225	28.6	132 53

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	492	151	△ 354	919
18年3月期第1四半期	649	△ 220	△ 417	1,109
(参考)18年3月期	1,988	△ 75	△2,382	629

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状況を前期末と比べますと、株式相場が前期末より下落したため投資有価証券が減少したこと等により、総資産は6億1千3百万円減少して456億7千2百万円となり、純資産は1億7千7百万円減少して130億4千7百万円となりました。

(連結キャッシュ・フロー)

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益4億6千8百万円等により、仕入債務の減少等があったものの、4億9千2百万円の収入となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、固定資産売却収入1億2千7百万円等により、1億5千1百万円の収入となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、配当金支払1億5千4百万円、長短借入金返済7千1百万円等により、3億5千4百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、9億1千9百万円となりました。

3. 添付資料

- ① 要約四半期連結貸借対照表
- ② 要約四半期連結損益計算書
- ③ 要約四半期連結株主資本等計算書
- ④ 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- ⑤ セグメント情報

以上

[参 考] 平成 19 年 3 月期の連結業績予想（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）

下表のとおり、平成 18 年 5 月 15 日公表の業績予想の修正はありません。

	売上高	経常利益	当期純利益
中 間 期	百万円 54,000	百万円 1,300	百万円 350
通 期	111,000	3,100	900

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 9 円 02 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

今後の見通しにつきましては、米国産牛肉の輸入再開及びWTO（世界貿易機関）における新多角的貿易交渉の決裂に伴う影響等、先行きは不透明であります。

こうした中で、当社グループでは、飼料事業部門においては新製品の開発と顧客にとり付加価値の高い配合飼料の拡販、畜産物事業部門においては畜産物の処理加工体制の整備を中心として積極的な営業施策を図っており、ほぼ当初の予想どおりに推移しておりますので、中間期・通期とも業績予想の変更は行いません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる可能性があることをご承知置き下さい。

要約四半期連結貸借対照表

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第1四半期 (18.6.30)	前 期 末 (18.3.31)	増 減	前第1四半期 (17.6.30)
(資産の部)				
I 流動資産	20,574	20,684	△ 110	22,004
現金及び預金	922	632	290	1,125
受取手形及び売掛金	15,363	15,240	122	16,429
たな卸資産	3,008	2,993	15	2,863
繰延税金資産	104	142	△ 37	169
短期貸付金	319	334	△ 15	486
その他	934	1,372	△ 438	972
貸倒引当金	△ 77	△ 31	△ 46	△ 42
II 固定資産	<u>25,098</u>	<u>25,601</u>	△ 502	<u>25,729</u>
有形固定資産	8,622	8,801	△ 178	9,148
建物及び構築物	2,257	2,291	△ 34	2,354
機械装置及び運搬具	3,158	3,263	△ 104	3,446
土地	2,960	3,040	△ 80	3,189
建設仮勘定	90	53	37	1
その他	156	152	3	156
無形固定資産	397	403	△ 5	414
その他	397	403	△ 5	414
投資その他の資産	<u>16,078</u>	<u>16,396</u>	△ 318	<u>16,166</u>
投資有価証券	7,019	7,470	△ 450	5,740
長期貸付金	5,252	5,293	△ 40	5,569
長期未収入金	6,729	6,673	56	5,848
破産債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	949	939	9	1,355
繰延税金資産	<u>2,283</u>	<u>2,096</u>	186	<u>2,911</u>
その他	716	824	△ 108	847
貸倒引当金	<u>△6,873</u>	<u>△6,901</u>	28	<u>△6,105</u>
資産合計	<u>45,672</u>	<u>46,286</u>	△ 613	<u>47,734</u>

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第1四半期 (18.6.30)	前 期 末 (18.3.31)	増 減	前第1四半期 (17.6.30)
(負債の部)				
I 流動負債	23,302	23,709	△ 406	25,602
支払手形及び買掛金	8,245	8,956	△ 710	9,287
短期借入金	11,216	11,234	△ 17	11,704
未払法人税等	201	100	100	96
繰延税金負債	3	2	0	3
賞与引当金	564	359	205	570
未払費用	1,104	1,206	△ 102	1,138
その他	1,966	1,850	116	2,803
II 固定負債	9,322	9,345	△ 22	10,545
長期借入金	7,892	7,947	△ 54	9,078
繰延税金負債	21	21	0	47
退職給付引当金	1,388	1,357	31	1,396
その他	20	20	0	22
負債合計	32,625	33,055	△ 429	36,148
(少数株主持分)				
少数株主持分	—	5	△ 5	3
(資本の部)				
I 資 本 金	—	5,199	—	5,199
II 資本剰余金	—	4,947	—	4,947
III 利益剰余金	—	<u>1,355</u>	—	<u>710</u>
IV その他有価証券評価差額金	—	2,140	—	1,143
V 自己株式	—	△ 418	—	△ 417
資本合計	—	<u>13,225</u>	—	<u>11,582</u>
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	<u>46,286</u>	—	<u>47,734</u>
(純資産の部)				
I 株 主 資 本				
資 本 金	5,199	—	—	—
資本剰余金	4,947	—	—	—
利益剰余金	<u>1,398</u>	—	—	—
自己株式	△ 418	—	—	—
株主資本合計	<u>11,126</u>	—	—	—
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	1,868	—	—	—
繰延ヘッジ損益	45	—	—	—
評価・換算差額等合計	1,914	—	—	—
III 少数株主持分	6	—	—	—
純資産合計	<u>13,047</u>	—	—	—
負債及び純資産合計	<u>45,672</u>	—	—	—

(金額単位：百万円未満切捨)

	当第1四半期	前 期 末	前第1四半期
(注) 1. 受取手形割引高	1,345	1,698	1,568
2. 有形固定資産減価却累計額	21,134	20,938	20,589
3. 保証債務	2,899	3,016	3,585
4. 債務保証予約	285	293	341
5. 経営指導念書	190	125	125
6. 自己株式数	4,210,382株	4,209,298株	4,206,713株

要約四半期連結損益計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第1四半期 (18.4~18.6)	前第1四半期 (17.4~17.6)	増 減	前 期 (18.4~18.3)
I 売 上 高	26,023	27,422	△ 1,399	108,223
II 売 上 原 価	23,188	24,484	△ 1,296	96,125
売 上 総 利 益	2,835	2,938	△ 102	12,098
III 販売費及び一般管理費	2,226	2,290	△ 64	9,127
営 業 利 益	609	647	△ 38	2,970
IV 営 業 外 収 益	161	193	△ 31	557
受取利息及び配当金	63	66	△ 3	126
その他の営業外収益	97	126	△ 28	430
V 営 業 外 費 用	185	302	△ 117	948
支 払 利 息	78	77	0	308
持分法による投資損失	29	183	△ 154	388
その他の営業外費用	78	41	36	251
経 常 利 益	585	538	46	2,579
VI 特 別 利 益	18	—	18	262
固定資産売却益	18	—	18	262
VII 特 別 損 失	135	738	△ 603	1,951
役員退職慰労金	135	—	135	—
減 損 損 失	—	738	△ 738	779
貸倒引当金繰入額	—	—	—	1,095
投資有価証券等評価損	—	—	—	75
税金等調整前四半期(当期)純利益 又税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	468	△ 199	668	891
税 金 費 用	225	12	213	455
少 数 株 主 利 益	0	△ 0	1	1
四半期(当期)純利益 又四半期(当期)純損失(△)	242	△ 211	454	433

要約四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期連結会計期間（自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 6 月 30 日）（金額単位：百万円未満切捨）

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
前 期 末 残 高	5,199	4,947	<u>1,355</u>	△ 418	<u>11,084</u>	2,140		2,140	5	<u>13,230</u>
当四半期変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
四半期純利益			242		242					242
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の 当四半期変動額						△ 272	45	△ 226	0	△ 225
当四半期変動額合計		0	42	△ 0	42	△ 272	45	△ 226	0	△ 183
当四半期末残高	5,199	4,947	<u>1,398</u>	△ 418	<u>11,126</u>	1,868	45	1,914	6	<u>13,047</u>

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	当第1四半期 (18.4~18.6)	前第1四半期 (17.4~17.6)	前 期 (17.4~18.3)
	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	468	△ 199	891
減価償却費	204	223	933
減損損失	—	738	779
引当金の増加額(△は減少額)	254	205	712
持分法による投資損失	29	183	388
売上債権の減少額(△は増加額)	△ 185	△ 45	499
たな卸資産の減少額(△は増加額)	△ 15	△ 364	△ 494
その他の資産の減少額(△は増加額)	476	258	△ 682
仕入債務の増加額(△は減少額)	△ 685	409	225
その他負債の増加額(△は減少額)	13	3	△ 71
法人税等の支払額	△ 74	△ 657	△ 791
その他	4	△ 107	△ 403
営業活動によるキャッシュ・フロー	492	649	1,988
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
貸付金の純減少額(△は純増加額)	55	△ 35	393
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 71	△ 194	△ 829
有形・無形固定資産の売却による収入	127	1	405
投資有価証券の取得による支出	△ 1	△ 1	△ 105
投資有価証券の売却による収入	20	9	28
その他	21	△ 0	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	151	△ 220	△ 75
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(△は純減少額)	△ 555	△ 696	△ 3,087
長期借入金の借入による収入	1,400	1,000	5,120
長期借入金の返済による支出	△ 916	△ 568	△ 3,900
預り担保金返済による支出	△ 127	—	△ 315
自己株式の売却による収入	0	0	0
自己株式の取得にによる支出	△ 0	△ 0	△ 0
配当金の支払額	△ 154	△ 152	△ 199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 354	△ 417	△ 2,382
IV. 現金及び現金同等物の増加額	289	10	△ 469
V. 現金及び現金同等物期首残高	629	1,098	1,098
VI. 現金及び現金同等物期末残高	919	1,109	629

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結会計期間（自平成18年4月1日至平成18年6月30日）（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	15,521	10,502	26,023	—	26,023
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	26	—	26	(26)	—
計	15,548	10,502	26,050	(26)	26,023
営業費用	14,744	10,432	25,176	237	25,414
営業利益	803	69	873	(264)	609

前第1四半期連結会計期間（自平成17年4月1日至平成17年6月30日）（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	15,268	12,154	27,422	—	27,422
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	46	—	46	(46)	—
計	15,314	12,154	27,469	(46)	27,422
営業費用	14,422	12,143	26,565	209	26,774
営業利益	892	10	903	(255)	647

前連結会計年度（自平成17年4月1日至平成18年3月31日）

（金額単位：百万円未満切捨）

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	63,323	44,899	108,223	—	108,223
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	107	—	107	(107)	—
計	63,431	44,899	108,331	(107)	108,223
営業費用	59,746	44,635	104,382	870	105,252
営業利益	3,684	263	3,948	(977)	2,970

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

2. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。